

＼タスクの放置を防ぐ！／

フラッグシステムに学ぶ

タスク大掃除術

FLAG
SYSTEM



株式会社 ニューラボ
安立 沙耶佳



株式会社 フラッグシステム
坂田 洋子 氏

backlog
by nulab

CONTENTS

フラッグシステムの Backlog 活用法	2
参加者の皆様のご利用状況	13
質疑応答	15



MODERATOR
モデレーター

株式会社 ニーラボ
安立 沙耶佳
PR担当

SPEAKER
スピーカー

株式会社 フラッグシステム
坂田 洋子 氏
[役職・専門領域]
広報・コンテンツマーケティング

BtoB向けシステム「イーベ!®」の広報・マーケティング担当。イベント開催に必要な申し込みフォーム・アフターフォロー・顧客管理を一元管理できる「イーベ!®」の機能説明や事例発信を担当している。

FLAG
SYSTEM



株式会社フラッグシステム Backlog 導入の背景は？

“ エンジニアだけでなく、
営業や広報など全社で使える
ツールというニーズ ”

安立 株式会社フラッグシステム様では全部署で Backlog を導入いただいておりますが、Backlog 導入のきっかけを教えてくださいませんか？

坂田 元々弊社はエンジニアがメインの会社であったため、Redmine というプログラマー寄りのシステムを使っていました。そこに、営業や広報という別部署も入ってきたことで全社的に、エンジニア以外の他職種でも使いやすいシステムを探していました。

“ 誰にでも使いやすい！
メンテナンス不要もうれしい ”

安立 導入の決め手、実際に Backlog を導入してみたの使用感や成果などがあればお聞かせください。

坂田 Redmine は私のような非エンジニアにとってはプログラムチックで難しく感じ、メンテナンスが必要な点も課題でした。構造を変更しようと思った時も、社内的にプログラマーさんに依頼する必要があったので、対応が後手になりがちでした。Backlog なら常にバージョンアップされ、最新の状態なので、そのストレスはほぼなくなりましたね。



多様な職種の方々に使いたい！という時に、Backlog を導入していただくことが多いと、他の会社の事例を聞いていても思いますね



安立

期限切れとなっている ゾンビタスクの数は いくつある？

“ゾンビタスクとは”

安立 ヌーラボ社内にはゾンビタスクという言葉があります。ずっと更新されていない、期限が切れている、生きてるか死んでいるかわからないタスクのことです。
ダッシュボードから「自分の課題」の欄を確認し、「期限切れ」となっているタスクをゾンビタスクと定義します。みなさんこのゾンビタスクがどれくらいあるのでしょうか？

ゾンビタスクの調べ方



ダッシュボード

参加しているプロジェクト、自分の課題が表示されます。

「期限切れ」 = ゾンビタスク

The screenshot shows a dashboard with a navigation bar at the top containing 'ダッシュボード', 'プロジェクト', '最近見た項目', and 'フィルタ'. Below this is a search bar and a '正式登録' button. The main content area is titled '自分の課題' and includes filters for '対象' (担当 (7), 登録 (1)) and '期限日' (すべて, 4日以内 (0), 今日まで (0)). A prominent orange box highlights '期限切れ (5)'. Below the filters is a table of tasks with columns for 'キー', '件名', '優先度', '状態', and '期限日'. The table lists three tasks: 1) '2021年10月25日 A社との打ち合わせを行う' (status: 未対応, due: 10月29日), 2) '大きな粒度の課題' (status: 未対応, due: 10月31日), and 3) '【福岡工場】：OG331-4NU：xx株式会社から仕入れた樹脂製品の品質保証書を用意してもらう' (status: 処理済み, due: 12月16日). A right-hand sidebar shows a notification from '川崎 麻里子 さんが 課題 を追加' for 'HR_GENERAL_AFFAIRS-67 研修 [2023マネージャー研修] 催'.

対象や期限までの日数で絞り込みが可能。() 内の数字は課題数を表します。

期限切れとなっている ゾンビタスクの数はいくつある？

“ 小さなことでも進捗用にタスク作成。
メモ的なものは未完了になることも…”



坂田 私は106件です。プロジェクトをまたいでいるのでどうしても多くなってしまいますね。

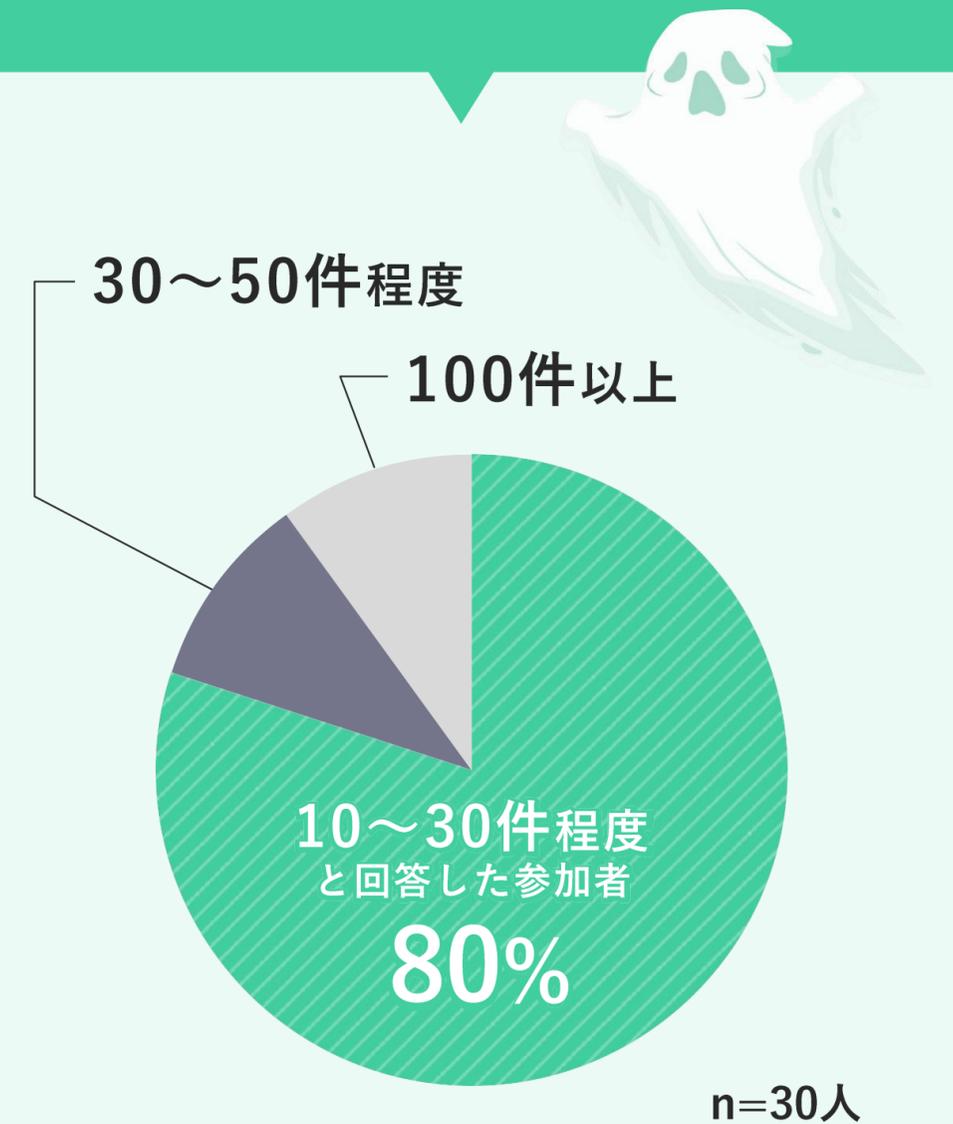
安立 報連相のほとんどをBacklogでされているのですね。

安立 私も100件以上。アイデアやゆくゆくやりたいことなどを気軽に登録しているので多くなってしまいかもかもしれません。
参加者の皆さんはゾンビタスク10~30くらいの方が多いですね。

坂田 そうですね。納期があるタスクは、どんな小さなことでも、進捗報告のために作成しています。
なんでもタスクとして作成してしまうので、課題作成から時間が経ったもので未完了のままになってしまうこともあります。

坂田 先日プライベートもかねて消化したのですが「取材用にヨドバシカメラにカメラをみに行く」というタスク。これはカメラを一緒に吟味しているメンバーが複数いたのでBacklogの課題（タスク）として登録したものです。複数メンバーが関わる情報は小さなことでも課題作成をするようにしています。

—参加者に聞きました—
「期限切れ」となっている
ゾンビタスクの数はいくつですか？



フラッグシステムの タスク大掃除術

安立 フラッグシステムでは、未完了のまま放置されたタスクがないか、全社一斉タスクの大掃除があると伺っています。

“未完了タスク数による
順位が公開される…”

坂田 年末会社の大掃除をするところが多いと思いますが、Backlogの中の課題も未完了のままのものがないかいうことを確認しています。エンジニア、広報、営業とチームがありますが、エンジニアチームのリーダー通称「マッスルさん」がすべての課題を見て、課題作成から時間が経っているものについて、「これは本当に必要なタスクなのか」と、未完了のタスク数ランキングを公表します。私がいつも一位を独走…笑
「ランキングの公表から1週間ほど後に、再

度結果が貼り出され、ちゃんとタスクを減らしているか、進捗確認を迫られます。年末に行われるので、ちゃんと年を越せるのかという気持ちで取り組みます。

安立 この、ゾンビタスクの数の数え方って色々あると思うのですが、Excelでエクスポートをして、ソートをかけて調べていただいている感じですよね？

坂田 エンジニアである「マッスルさん」がやっているなので、おそらくそうだと思います。他の職種のメンバーより時間がかからずやってくれています。



フラッグシステムの タスク大掃除術

“ダッシュボードの大掃除は
今では年に4回ほど定期的に”

坂田 このタスクの大掃除は社内で定着し、年に4回ほど大掃除をするようになってきています。

安立 年に4回もされているんですね。

坂田 そうなんです。会社全体のタスクの大掃除をマッスルさんが引き受けてくれていて、このような投稿がリマインダーという形で年末以外にも投稿されることが増えています。

安立 フラッグシステム社内で投稿されたというタスク大掃除のアナウンステキストもご紹介させていただきました。未完了のタスクに対する自分の反応によってそのタスクをどう扱うべきかという視点がとても勉強になります。

タスク大掃除アナウンス例

【チケット大掃除のお知らせ】

今年も残り一ヶ月となりました。チケットを断捨離しましょう。チケットを多数抱えていては本当に大事な案件が埋もれます。間違って断捨離しても必要なチケットは自然に復活するので、迷ったら捨てましょう。

※一定期間過ぎてるものは清が強制廃棄する可能性があります。

タスクの大掃除 全部断捨離！断捨離判断5か条

- | | |
|---------------|-------------------|
| ■とりあえず作った。 | ←個人でメモる |
| ■これなんだっけ？ | ←忘れるものは不要 |
| ■昔のチケット | ←もう旬が過ぎてる |
| ■やる気が出ず放置してた。 | ←放置できるなら不要 |
| ■チケット多すぎ。 | ←キャパ超えてるのでどうせやれない |



Backlog を定着させるために 坂田さんが心がけていることは？

安立 Backlogをどう定着させるかということに皆さまお困りだと思いますが、フラッグシステム様は比較的定着しているケースだと思います。坂田様も時短勤務、そして最近部下の方がお二人入社されて、部下の方との連携のためにもBacklogを使っていると伺いました。部下の方お二人とずっと一緒に業務というわけではないですもんね。

“Backlogが業務のコア、
口頭ですむことも一元化して
Backlogへ”

坂田 弊社にはコアタイムが設けられているので、時短で活躍している社員が在籍しています。私も急に子供が病気になって家で仕事をするということもあります。コロナの最中で始まったことですが、

Backlogというタスク管理ツールが業務のコアにあったから、そのような働き方が選択しやすくなったという実感があります。弊社では口頭ですませるようなことも全てBacklogに記録しているので、自分がやっている作業がBacklogの課題に挙がっていないという状況が発生しません。Backlogで管理しているから、みんなで進捗を追えるので安心です。

安立 部下の方はお二人は元々Backlogを使った経験はあったのでしょうか？

坂田 1名はツールを使った経験自体がなかった。もう1名は、一般職や保険の営業を経験しているが、前職では独自のツールでタスク管理をしていたようです。二人とも Backlogは初めてでしたがBacklogの使い方で困るという状況はなかったですね。

“課題更新もセットで行えば、
作業が迷子にならずに済みます”

安立 すごくお忙しいので、坂田様がBacklogを更新する時間もないくらいだと伺いました。そんな時「Backlogを更新しておいて」と部下に依頼することもあるそうですが、少し具体的に教えてもらっても良いですか？

坂田 まず私の働き方からご説明します。時短で10時～17時まで働いている。1歳と5歳の子供がいる。そうなるちょっとした合間の時間にスマホで確認し、指示を出すということも正直発生します。

Backlog を定着させるために 坂田さんが心がけていることは？

“ 会話で生まれたタスクも
丁寧に拾う ”

坂田 合間にスマホ確認で指示を出すという時は、Backlogでタスク全体を見渡したり、会話の中で発生した細かいタスクをBacklogに起票するのが難しいことがあります。そういう時は、Slackに課題をある程度書いて、「これを着手する前に、課題を更新してから進めてください」という風に指示をしています。そうすることである程度の業務の流れが見渡せるし、作業者としても迷子になることはないなので、課題更新も合わせてスタッフにはお願いします。

安立 自分がBacklogを更新できないときは、「これやっておいてね」の声かけと一緒にBacklogの更新をセットで行っていただいているのですね。

“ コアタイム外は仕事のことから
離れる時間も大切にしてほしい ”

安立 坂田様は家事がひと段落された夜の時間でのSlack通知などは、その時間に稼働していない社員への配慮をこめて、あまりしないようにしているとも伺いました。

坂田 はい。コアタイムの時間外はできるだけスタッフにも仕事のことから離れるようにして欲しいので、Slackでメッセージの配信時間を予約するようにしています。

Slackでメッセージの配信は翌営業日の朝9時。翌営業日の朝9時にさっと通知が来るようになっているので、スタッフにとって良いかは分かりませんが…笑

私の出社が10時なので、それより前にある程度業務のメッセージを送っておきます。スタッフはSlackメッセージの確認から業務スタートという流れで仕事をしています。

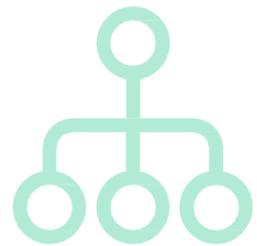


フラッグシステム流

Backlog のこの機能は使うべし 3 選

1.

親課題・子課題を
整理する



2.

テキストエディタにある
「コード {}」表現の
活用



3.

プロジェクトごとに
Wiki をつかう



1.

親課題・子課題を整理する

坂田 1つの親課題に対し、子課題を作成し、スケジュール感の共有と作業漏れがないようにします。全ての子課題が終了した時に、そのプロジェクトの目処がついたということで親課題を終了させるというように運用しています。事業部が跨ぐようなタスクでも、子課題を使って分けることでかなり整理してプロジェクトを進行することができます。親課題・子課題を整理することで常に全体が見える化されている状態を作ることに活かしている機能だと思います。

安立 担当者と課題を細かく切り分けていくことが大事ですね。自分の会社のBacklogでは子課題が作れない」とお困りの方はプロジェクト管理者に伝えて設定を見直してもらって、親課題・子課題が使えるようにお願いしてみてください。

親課題・子課題の設定例

親課題

システム開発に関わる課題

▶システム

子課題

ユーザーへシステムの仕様変更のお知らせ

▶広報

特定ユーザーへ直接的な説明

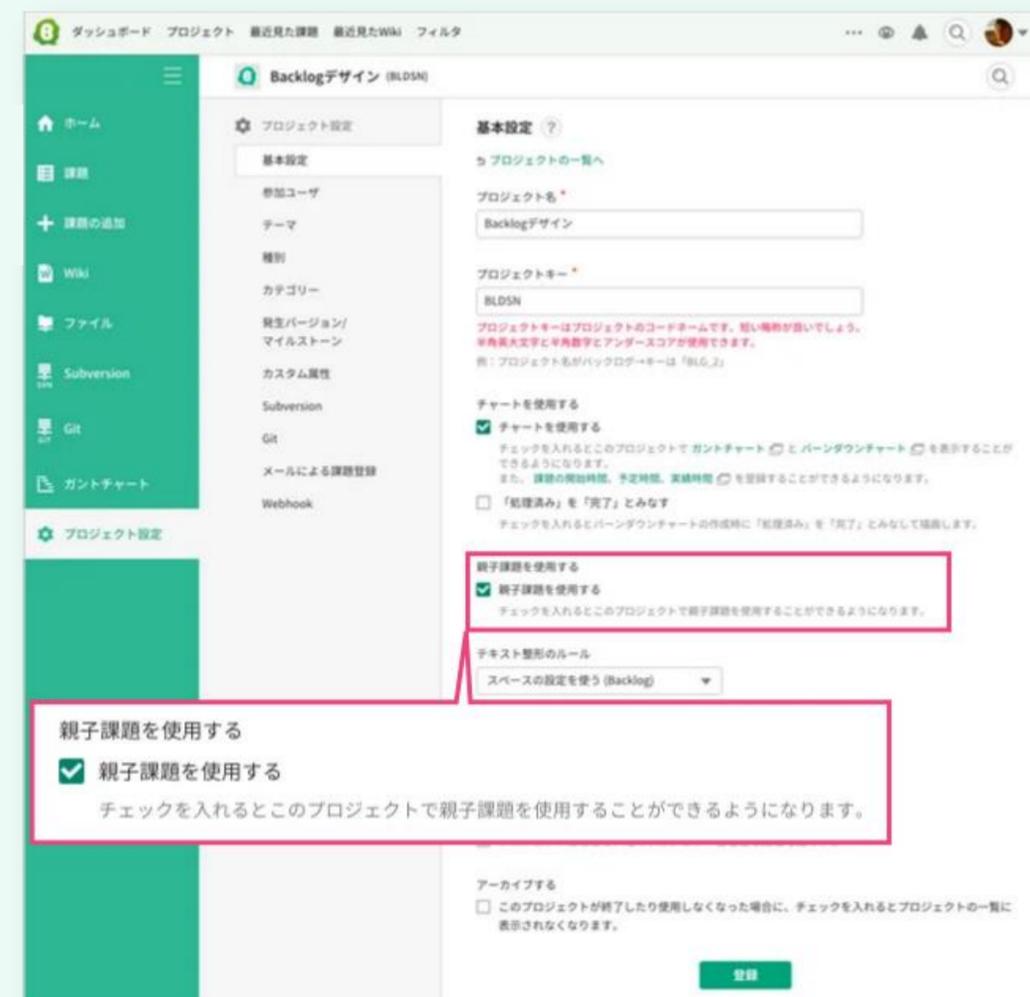
▶カスタマーサポート

利用者に向けたマニュアル作成

▶営業もしくは広報

新しい広告の作成

▶広報



2.

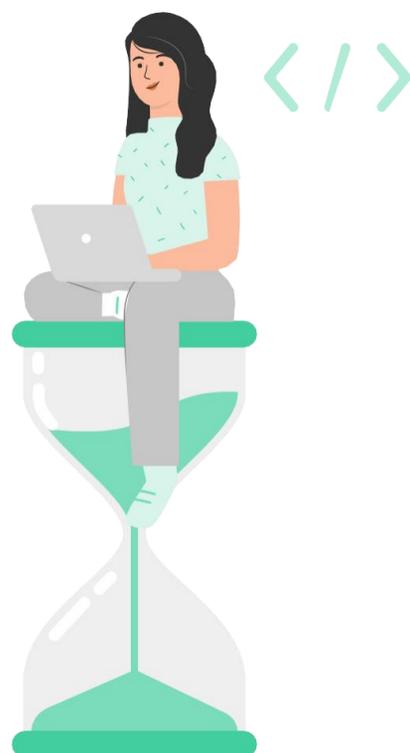
エディターの コード表記の活用

坂田 こちらはかなりPC作業玄人の方向けかもしれないです。エディターのコード表記を使って、指示を見やすく、読みやすくします。コード表記で囲うと、書式の属性がなくなり、プレーンな状態でコピペできるので、業務の単純ミスが発生しづらくなるのでおすすめです。

特にUI設計において、エンジニアさんに間違いのない作業&スムーズに作業いただく為、「コピペ」原稿は必須。社内ルールで、エンジニアさんには、「見える部分のテキストの手打ちは禁止」としていることもあり、活用している機能です。

安立 コード表記にしないと、そのテキストのフォントや色、背景の色などが引っ張られてしまいますもんね。これは他のメンバーの方への配慮が詰まった使い方ですね。

坂田 課題の中では頻繁にやり取りや情報更新が行われます。イージーなオペレーションミスは他の大きなミスに繋がりやすいので、できるだけ次の作業に対してできるだけミスがないように業務を繋ぐということを心がけています。



入力文字の例

```
...
package helloworld;

public class Hello {
    public static void main(String[] args) {
        System.out.println("Hello World");
    }
}
...
package helloworld;

public class Hello {
    public static void main(String[] args) {
        System.out.println("Hello World");
    }
}
...
`インラインコード`
```

3.

プロジェクトごとに Wiki の活用

坂田 「イーベ」というサービスを運用するにあたって、必要な情報、例えば使っているツールや広告の出稿履歴、エディターサービスのログインパスワードなどはWikiに全て書いています。Wikiに行けば必要な情報があり、「Wikiを検索してください」というコミュニケーションですむようになっています。プロジェクトに関する全ての情報をWikiに書くという運用ルールです。

安立 スプレッドシート等、様々なツールを使ってプロジェクトを進めている会社もあると思いますがBacklog上でWikiさえ見ればすべての共有情報が見られるということにこだわっているのですね。

坂田 Microsoftなど別のツールを使うことはありますが、例えばスプレッドシートを使っているのであれば、そのURLをしっかりと貼り付けるようにして、全ての情報のハブとしてWikiを使っています。

安立 より詳しいフラッグシステムの事例はヌーラボのサイトからご確認いただけますので参考にしてください。

[\(LINK\) フラッグシステムの事例を確認する](#)



参加の皆さまもスタンプで回答、 さてフラッグシステムは？

Q.1

Backlogの利用を徹底してくれない人
(更新を面倒くさがる人)がいて
困ったことがある



A.1

大半の方が
「困ったことがある」と回答。

坂田 弊社の場合、すべて課題をBacklogで管理しているので、それ以外の方法で業務管理をされてしまったら、会社としてはその人が何をしているかわからないということになってしまいます。状況的に使わないことがありえないのです。事業部ごとに毎週リリース会議がありますが、その会議は Backlogの課題がベースです。

安立 会議で共有される画面自体がBacklogということですか？

坂田 そうです。課題のURLを貼って進めることもあります。週1回の広報のミーティングでも課題の確認をしています。
私が時短なので、17時に終業した段階では、スタッフの進捗を見切れないので、スタッフ

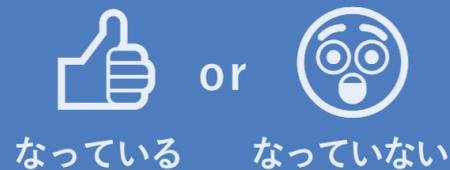
には帰る時に、日報代わりにどのタスクを行ったかをSlackで共有してもらっています。

安立 やはり御社の定着には、お掃除担当をはじめ、Backlogの活用リーダーというような方がいらっしゃるのも大きいようですね。

参加の皆さまもスタンプで回答、 さてフラッグシステムは？

Q.2

Backlogは、
他のチームのプロジェクトも
見れる設定になっている



A.2

半々くらい。
会社の色が出る。

安立 ヌーラボの場合は人事情報などの秘匿性の高い情報以外は見える状態になっています。おそらくフラッグシステムさんもそうですね？

坂田 見れます。Backlog導入当初は、社長がみんなのタスクを見回ってスターマークをつけて回ることをしていたくらいです。今は量が多いのでやっていませんが。

安立 オープンになっていることで良いことってありますか？

坂田 Backlogにお問い合わせがくるように設定しているので、エンドユーザー様の声が見えるのです。そこからプロジェクト化、課題に派生したケースもあるので、他のスタッフに聞かなくても源流の情報まで遡ってみれると

いうのは良いですね。また、過去の情報もわかるので、もし担当者がアクティブでなくても、それぞれが自分のタイミングで仕事が進められるのは良いですね。

安立 そうですね。タスクの背景の「なんで」がわからないとやりづらいですね。

また、最初にタスクを登録するコスト、打ち込むコストはもちろん高いのですが、来年の自分や未来で他の人たちが苦労しないということに繋がりますよね。

私も引き継がれた仕事をすることが多いのですが、そこは調べれば大抵のことがわかるので、先人に感謝しています。

坂田さんへの 「Q&A」 質疑応答

Q.1 事例取材で社内に 影響はありましたか？

坂田 事例取材を受けて、幼稚園のママ友がBacklogを使っていることが判明しました。ママ友は通販関係の会社の方で「こんな使い方をしている」と、意外な場所で情報交換をするきっかけになりました。他にも社内外からコメントをいただきました。

Q.2 コメントがダラダラ長く続いてしまう課題が発生した場合、 そのまま続けるか、あえて別のタスクに切り分けるか。 どう判断していますか？

坂田 弊社はBacklogが浸透しているということもあり、「ここから先は子課題にしましょうか」という会話がよく行われています。簡単だと思っていた1タスクが、業務として大きかったというのはよくあること。「ここからは子課題にします」「別課題を立てます」というコメントを残し、コメントの最後には、新しい課題のリンクも貼っておく。それらの子課題も全て終わったら親課題を終了させる運用にしています。

安立 後から検索してもわかるように「続きはこちら」の情報を徹底されているんですね。

坂田 ゾンビタスクにあるあるなのですが、フラッシュアイデアで課題を作ったものが何個

か重複しているケースがあります。言っていることは同じなのに、事業部によって使う言葉・表現の方法が違うなどです。

(例)

[広報] ○○ができるようになる機能を作る

[エンジニア] ○○のプログラムを設計する

そんな時は「類似の課題があったため終了します」と記載して、生かした課題の方のURLを貼ってから閉じます。また、文字修正や細やかな修正が多い場合は、コメント欄でやりとりせず、ドキュメントを別に作って、そのURLを貼ってやりとりすることでコメントが増えすぎないようにしています。

ご参加いただき、
誠にありがとうございました



backlog
by nulab